

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 14 日 (2017.9.14)

【公表番号】特表 2016-528661 (P2016-528661A)

【公表日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-055

【出願番号】特願 2016-536276 (P2016-536276)

【国際特許分類】

G 1 1 B 5/187 (2006.01)

G 1 1 B 5/31 (2006.01)

G 1 1 B 5/255 (2006.01)

G 1 1 B 5/127 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/187 C

G 1 1 B 5/31 K

G 1 1 B 5/187 S

G 1 1 B 5/255

G 1 1 B 5/127 N

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 1 日 (2017.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読取り / 書込みヘッドであって、

本体を備え、前記本体は、本体長および支持面を有し、前記支持面は、データ記憶媒体が前記支持面にわたって長手方向に搬送されるときに前記データ記憶媒体を支持するためのものであり、前記本体の前記支持面は、軸を中心として前記本体の幅方向に湾曲しており、前記本体の前記支持面が有する長手方向の長さは、前記本体の中間領域においてのみ前記本体長よりも短く、前記読取り / 書込みヘッドはさらに、

少なくとも 1 つの読取り / 書込み装置を備え、前記少なくとも 1 つの読取り / 書込み装置は、前記データ記憶媒体が前記支持面にわたって搬送されるときに前記データ記憶媒体からのデータの読取りおよび / またはデータ記憶媒体へのデータの書込みを行うために、前記本体の前記支持面の前記中間領域上に設けられる、読取り / 書込みヘッド。

【請求項 2】

前記本体の前記支持面は横軸を中心として凸状である、請求項 1 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 3】

前記本体の前記支持面は横軸を中心として部分的に円筒形である、請求項 1 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 4】

前記読取り / 書込みヘッドの前記本体の前記支持面においてスロットが形成される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 5】

前記スロットは、前記読取り / 書込みヘッドの前記本体内を通るよう形成される、請求

項 4 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 6】

前記スロットは、長手方向および横方向に対して概して垂直に形成される、請求項 4 または 5 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 7】

前記スロットは、1つの横方向側壁および2つの長手方向側壁を備える、請求項 4 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 8】

前記スロットは、1つの横方向側壁と、前記横方向側壁および長手方向に対して角度が付けられた2つの側壁とを備える、請求項 4 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 9】

前記スロットは、2つの長手方向側壁と、概して平坦な横面とを備える、請求項 請求項 4 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 10】

前記スロットは、前記本体において一定の深さに形成される、請求項 4 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 11】

前記スロットはさらに、第1のスロットとして規定され、

第2のスロットが前記第1のスロットと交差する前記読取り / 書込みヘッドの前記本体において形成される、請求項 10 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 12】

前記スロットは、前記少なくとも1つの読取り / 書込み装置から間隔を空けて配置され、前記本体の長手方向端縁に形成される、請求項 11 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 13】

前記第2のスロットは、逆の長手方向への前記データ記憶媒体の移動中における接触を向上させるために、前記読取り / 書込みヘッドの前記本体の前記支持面において形成される、請求項 12 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 14】

前記第2のスロットは、前記少なくとも1つの読取り / 書込み装置から間隔を空けて配置され、前記第1のスロットから間隔を空けて配置され、前記第2のスロットは、前記読取り / 書込みヘッドの第2の長手方向端縁に形成される、請求項 13 に記載の読取り / 書込みヘッド。

【請求項 15】

テープ駆動システムであって、

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の読取り / 書込みヘッドを備え、前記データ記憶媒体はデータ記憶テープを含み、前記テープ駆動システムはさらに、

前記データ記憶テープを駆動するためのモータを備える、テープ駆動システム。

【請求項 16】

テープ駆動システムであって、

読取り / 書込みヘッドを備え、前記読取り / 書込みヘッドは本体長および支持面を有し、前記支持面は、データ記憶テープが前記支持面にわたって長手方向に搬送されるときに前記データ記憶テープを支持するためのものであり、前記読取り / 書込みヘッドの前記支持面は、軸を中心として、前記読取り / 書込みヘッドの幅方向に湾曲し、前記読取り / 書込みヘッドの前記支持面が有する長手方向の長さは、前記読取り / 書込みヘッドの中間領域においてのみ本体長よりも短く、前記テープ駆動システムはさらに、

前記読取り / 書込みヘッドの前記支持面の前記中間領域上に設けられる少なくとも1つの読取り / 書込み装置を備え、前記少なくとも1つの読取り / 書込み装置は、前記データ記憶テープが前記支持面にわたって搬送されるときに前記データ記憶テープからのデータの読取りおよび / または前記データ記憶テープへのデータの書込みを行うためのものであ

り、前記テープ駆動システムはさらに、

前記データ記憶テープを駆動するためのモータを備える、テープ駆動システム。

【請求項 17】

読取り／書込みヘッドを製造するための方法であって、

データ記憶媒体を支持するための湾曲した支持面を備えた細長い本体を形成するステップと、

前記読取り／書込みヘッドの前記支持面の中間領域上に少なくとも１つの読取り／書込み装置を設けるステップと、

前記中間領域における前記支持面の長手方向の長さを短くするために、前記細長い本体の前記中間領域から材料を除去するステップとを含む、方法。